

教職概論

教師を目指す人のために

第5次改訂版

佐藤晴雄 [著]

5◎テレビドラマから見た理想の教師

1 ドラマの教師のタイプ

今度は、教職志望者に少なからぬ影響を及ぼしているテレビの学園ドラマから理想的教師像を探ってみよう（ここでは、時代区分の関係から元号で表記する）。

昭和40年以降に放映されたドラマに登場する教師は、「カッコよい教師」（40年代）、「人間性あふれる教師」（50年代）、「理想を追求する教師」（60年代）、「奮闘する女性教師」（平成初期）、「問題教師」（平成初期）、「超個性派

教師」（平成5年以後）という6つのタイプに大別できる（表2-1）¹⁶⁾。これら各タイプは社会的背景と決して無関係ではない。たとえば、昭和40年代は学園紛争の最中であり、デモシカ教師の存在が指摘された時期だが、その頃のテレビドラマにはスポーツマンタイプのややの気満々教師が活躍していた。

また、昭和50年代は人材確保法の制定によって教師も給与生活者であることが社会的に確認され、同時に青少年問題の低年齢化が著しくなくなった頃だが、ドラマの中では所帯持ちの中年教師や個性豊かな人情型教師が描かれていた。

このうち平成初期に登場した「問題教師」を除けば、主人公は理想的教師として視聴者に受けとめられたと考えられる。

以下、タイプ毎にこれまでのドラマの特徴を追うことにしよう。

(1) 教師のカッコよさをアピールした40年代

昭和40年代の教師ドラマは青春ドラマとして位置づけられ、そこに登場する教師はカッコよく描かれていた。それはスポーツマンで、話のわかる教師、あるいは女生徒に人気のあるアイドル的存在として扱われ、教師という職業がカッコよく描かれていたのである。

① スポ根型教師（昭和40年代初） 青春ドラマの草分けとして知られる「青春とはなんだ」が昭和40年に放映され、本格的な学園ドラマがスタートした。このドラマは、閉鎖的な田舎町を舞台にして、新任教師として赴任した夏木陽介演じる型破りの青年高校教師がラグビーを通して生徒たちとの人間的交流を深め、立ちほだかる問題の一つひとつと解決する姿を描いた。このドラマの続編である「これが青春だ」「でっかい青春」も同様の設定である。その後、このタイプの教師は昭和47年から49年頃に「飛び出せ！青春」「われら青春！」の2作の放映によって復活した。

これらドラマの主人公は、いずれも熱血な新任の独身男性で、劣等生の生徒たちにも熱い情熱を注ぐことを惜しまず、スポーツをとおして生徒とふれあい、根性や青春を体当たりで教える教師であった。これらの放映時期はちょうど学園紛争最中であり、青白き青年たちが多かった時代である。そうしたムードがかえってスポーツと根性を求めたのかもしれない。

② アイドル型教師（昭和40年代中頃～末） 昭和44～46年にかけては、教師が異性のアイドル的存在として位置づけられてくる。このタイプのドラ

表2-1 これまでに放映された主な教師ドラマ

番組名	舞台	主演	放送局	時代背景
昭和40 青春とはなんだ	高校	夏木陽介	N T V	40 学園紛争激化、東大安田講堂
41 これが青春だ	高校	雷太	N T V	44 郡立上野高校・麻布高校など高校でも学園紛争
42 でっかい青春	高校	雷太	N T V	46 教職調整額の創設
44 あいつの季節	高校	哲也	T B S	49 人材確保法制定→教員給与が行政職を上回る
45 おくくさまは18歳	高校	立鉄男	T B S	49~51 教職員給与の値上げ
47 飛び出せ!青春	高校	村野範	N T V	50 遇措置実施
49 われら青春!	高校	中村雅俊	N T V	52 主任の制度化
49 若い!先生	高校	篠田三郎	T B S	52 宮城教育大武田忠助教授、青森県内の小学校に内地留学(55「サンキュー先生」は、元大学助教授の小学校教員)
50 たぬき先生奮戦記	小学校	坂上二郎	フジTV	57 校内暴力のピーク
51 たぬき先生騒動記	小学校	坂上二郎	フジTV	58 非行件数の戦後第三のピーク、低年齢化の傾向
53 熱中時代-教師編	小学校	水谷豊	N T V	59 臨教審発足 戦後教育の見直しを検討
53 青春ど真中!	高校	中村雅俊	N T V	62 臨教審最終答申提出
53 ゆうひが丘の総理大臣	高校	中村雅俊	N T V	63 特別免許状制度化
54 あさひが丘の大統領	高校	宮内淳	N T V	1 学習指導要領改訂。校内暴力再び増加
54 あさひが丘の大統領	高校	武田鉄矢	T B S	2 高校中退者史上最高
54 3年B組金八先生	中学校	西田敏行	TV朝日	3 中野区富士見中いじめ事件
55 サンキュー先生	小学校	水谷豊	N T V	4 女性教員3年前に比べて増加。女性管理職2倍に
55 3年B組金八先生(2)	中学校	武田鉄矢	T B S	5 文部省「教員の心の健康調査研究協力者会議発足」
55 熱中時代-教師編II	小学校	水谷豊	N T V	6 いじめ過去最高
56 1年B組新八先生	中学校	岸田智史	T B S	7 文部省いじめ対策緊急会議報告
57 3年B組金八先生	中学校	川谷拓三	T B S	
58 2年B組仙八先生	中学校	サトウ宗幸	T B S	
59 スクール・ウォーズ	高校	山下真司	T B S	
59 うちの子にかぎって	小学校	田村正和	T B S	
62 はっさい先生	旧制中学校	若村麻由美	N H K	
63 教師びんびん物語	小学校	田原俊彦	フジTV	
63 3年B組金八先生(3)	小学校	武田鉄矢	T B S	
平成1 教師びんびん物語II	小学校	田原俊彦	フジTV	
1 はいすくーる落書	高校	斉藤由貴	T B S	
1 愛し合ってるかい!	高校	牌内孝則	フジTV	
2 スクール・ウォーズ-パート2	高校	小泉今日子	フジTV	
3 学校へ行こう	高校	山下真司	T B S	
4 教師夏休み物語	高校	浅野ゆう子	フジTV	
4 学校があぶない	小学校	石橋 凌	N T V	
5 高校教師	高校	鷲尾いさ子	T B S	
6 人間・失格	高校	田中 健	T B S	
7 3年B組金八先生(4)	中学校	武田鉄矢	T B S	

平成8	みにくいくアヒルの子	小学校	岸谷五郎	フジTV	8 文部省調査研究協力者会議、教員採用選考試験で人物重視を提言
9 職員室	職員室	浅野温子	フジTV	10 バタフライ、ナイフ事件社	
10 GTO	10 先生知らないの?	反町 隆	T B S	10 問題化、学習指導要領改訂(小中)、不登校増加し続ける	
10 女教師	10 女教師	高島礼子	TV朝日	12 『だから、あなたも生きぬいて』出版(樫道の妻が弁護士に)	
11 ナオミ	11 ナオミ	藤原紀香	フジTV	13 [HERO] 放映(高校中退の機事)が大人気	
11 魔女の条件	11 魔女の条件	松嶋菜々子	フジTV	14 文科省「学びのすすめ」公表、中教審が特別免許状の活用促進及び社会人の教員採用の促進を提言	
11 天国に一番近い男	11 天国に一番近い男	松岡昌宏	T B S	15 『不良少年の夢』出版(不良少年が母校の教師に)	
11 3年B組金八先生(5)	11 3年B組金八先生(5)	武田鉄矢	T B S	16 不適格教員数がピークに	
12 伝説の教師	12 伝説の教師	松本人志・中居正広	N T V	17 郡立高で無免許教員の採用が発覚。以後各地でも発覚	
13 さよなら小津先生	13 さよなら小津先生	村田正和	フジTV	18 教育基本法全面改正、中教審、教員免許更新制を提言、宮崎県などスパーティーチャー制度実施、『オール1の落ちこぼれ、教師になる』出版	
13 3年B組金八先生(6)	13 3年B組金八先生(6)	武田鉄矢	T B S	20 教員免許更新講習実施	
14 ごくせん	14 ごくせん	仲間由紀恵	N T V	21 民主党マニフェストで「教員養成6年制」	
15 ライオン先生	15 ライオン先生	竹中直人	N T V		
15 僕の生きている道	15 僕の生きている道	草薙 剛	フジTV		
15 ヤンキー母校に帰る	15 ヤンキー母校に帰る	竹野内豊	T B S		
16 3年B組金八先生(7)	16 3年B組金八先生(7)	武田鉄矢	T B S		
17 女王の教室	17 女王の教室	天海祐希	N T V		
17 ドラゴン桜	17 ドラゴン桜	阿部 寛	T B S		
17 みんな昔は子供だった	17 みんな昔は子供だった	国仲涼子	フジTV		
17 ごくせん(2)	17 ごくせん(2)	仲間由紀恵	N T V		
18 ガチバカ!	18 ガチバカ!	高橋克典	T B S		
19 生徒諸君!教師編	19 生徒諸君!教師編	内山理名	TV朝日		
19 3年B組金八先生(8)	19 3年B組金八先生(8)	武田鉄矢	T B S		
20 エジソンの母	20 エジソンの母	伊東美咲	T B S		
20 学校じゃ教えられない	20 学校じゃ教えられない	深田 恭子	N T V		
20 太陽と海の教室	20 太陽と海の教室	織田裕二	フジTV		
20 ルーキーズ	20 ルーキーズ	佐藤隆太	T B S		
20 ごくせん(3)	20 ごくせん(3)	仲間由紀恵	N T V		
22 23 ハガネの女	22 23 ハガネの女	吉瀬美智子	TV朝日		
23 「スクール!!」	23 「スクール!!」	江口洋介	フジTV		
24 黒の女教師	24 黒の女教師	柴 倉 泰 々	T B S		
25 仮面ティーチャー	25 仮面ティーチャー	藤ヶ谷太輔	N T V		
26 夜のせんせい	26 夜のせんせい	観月ありさ	T B S		
26 ごめんね青春	26 ごめんね青春	錦戸 亮	T B S		
28 仰げば尊し	28 仰げば尊し	寺尾 聰	T B S		
29 先に生まれただけの僕	29 先に生まれただけの僕	桜 井 翔	N T V		

(注1) ここで取り上げたのは、東京をキー局として放映されたドラマのうちで筆者が視聴したものに限定した。
(注2) 上記ドラマのほかは47年から放映している「中学生日記」があるが、長寿番組であるためここでは取り上げなかった。また、これらのほかにも、教師を扱ったドラマは多いが、ここでは省略した。

マには「あいつの季節」「おくさまは18歳」などがある。前者は、ミッシェンスクールを舞台に、生物教師（渡哲也）と英語教師（栗原小巻）を中心に、若い世代の恋とセックスを軽快なタッチで描くものである（原作：石坂洋次郎『だれの椅子』）。後者は、屋間は高校教師（石立鉄男）と女生徒（岡崎友紀）の関係だが夜は夫婦という設定で、高校教師は学校では女生徒たちの憧れの的になり、その妻である女生徒がこのことに嫉妬するという設定である。「若い！先生」も異性にもてる教師を主人公にしていた。

いずれのドラマでも教師は女生徒から見てカッココよい異性であり、スポーツマンの汗や泥臭さを完全に脱したアイドル的存在として描かれたのである。

(2) 教師の人間性が求められた50年代

昭和50年代になると、教師ドラマは青春ドラマから教育ドラマの色彩を色濃くしていき、その教師がカッココよさやスマートさを捨て、教師も人の子であり、給与生活者であり、また生徒の友達であったり、あるいは少しオッチョコチョイで涙もろい人間味ある存在として描かれる。この時期には、舞台が高校だけでなく、小学校（たぬき先生奮戦記・熱中時代・サンキュー先生）・中学校（3年B組金八先生などのシリーズ）へと多様化するが、このことは、教師が単なる生徒の憧れ以上の存在であることを意味している。

① 生活者型教師（昭和50年代初め） 昭和50年代前半には、教師ドラマはいくつかの路線に分かれていく。まず、教師ドラマの中で特異な位置を占める「たぬき先生奮戦記」が登場する。「みんな、仲良くやりましょう」で始まるこのドラマは、舞台設定を小学校にし、中堅の所帯持ちの教師を主人公に据えた点で、従来のタイプとは大きく異なる。坂上二郎が演じる「たぬき先生」は妻に先立たれ、残された娘を育てながら家庭と学校で起きている様々な問題に直面しつつ教師生活を送る。教師は聖職者と言われるが、実際には家庭を持ち生計を営んでいる一人の当たり前の人間であることを伝えた。折しもこのドラマが放映された前年は、教師の経済的優遇措置を図るための人材確保法が制定された年であった。

② 友達型教師（昭和50年代前半） かつての青春路線の系譜に属するものとしては、「ゆうひが丘の総理大臣」「あさひが丘の大統領」の2作があげられる。40年代前半の青春ドラマに比べて、教師と生徒との心理的距離が

ずっと近づき、むしろ両者は対等な関係、友人関係にも似た横の関係に近づいてきたのである。教師は生徒たちのガキ大将のように慕われ、生徒を代表する総理大臣や大統領として扱われた。

③ 熱中型教師（昭和50年代中頃） 熱中先生という言葉が流行させた「熱中時代」が教師ドラマブームを巻き起こした。これは、教師という職業を選んだ一人の青年（水谷豊）が、教育の現場で悪戦苦闘しつつ子どもたちを限りなく愛し、人と人との結びつきを大切にしながら懸命に成長していく。そんな新米教師の青春の姿をコミカルに描いたものであった。その青年教師の北野先生は、三流大学卒業の欠員補充教師で、ドジでオッチョコチョイで頼りないが人間味あふれるはみだし教師である。当時、小学生の7割近くが「好きな先生」「理想の先生」のタイプにあげたと言われる¹⁶⁾。

④ 人情型教師（昭和50年代中頃～末） 金八ブームを巻き起こした「3年B組金八先生」は、「熱中時代」と並んでもっとも注目されるべきドラマの一つである。このドラマは、受験と進学、希望と失望、人生の選択などに悩み、凍てつく青春を送る桜中学3年B組生徒32人と新米教師金八先生（武田鉄矢）との交流をシリーズに取り上げたものである。金八は、スポーツマンではなく、容姿もスマートではないが、感激屋で涙もろく人情味あふれ、教育に対する情熱と生徒への愛情の深さは人一倍の教師である。そんな教師が生徒とともに悩み、傷つきながら教師という仕事に真剣に取り組み姿が大反響を呼んだ（最高視聴率41.6%）。

このシリーズにある「3年B組貫八先生」（川谷拓三）の神崎貫八は、人情にあつく感激屋で、単純で行動的なお人よしの人間臭い教師であった。

ちょうどこの頃は、非行の低年齢化が進み、中学生にもその波が押し寄せ、また青少年の性が問題になり、教育問題が深刻視された時期であった。ちなみに、「不良少女と呼ばれて」（TBS・59年）、「転校少女Y」（TBS・59年）など現実を生起している教育問題を扱ったドラマも見られた。

(3) 教育の理想を求めた60年代（理想追求型教師）

昭和59～60年にかけて、田村正和演じる石橋先生が悪ガキに翻弄される姿を描いた「うちの子にかぎって」や山下真司が泣き虫先生と呼ばれて活躍する「スクール・ウォーズ」（京都市立伏見工業高校の実話のドラマ化）が

あることを放棄した問題教師である。これらのドラマが放映された時代は、病気休職教師のうち精神疾患によるものが3割を超え、心を病んだ教師が増えた頃であった。

しかし、その後は型破りのスーパー教師が活躍するドラマが続出する。「みにくいアヒルの子」は、北海道からやってきた革ジャン姿でスーパーカーで通勤する粗野な小学校教師の玩助先生の生活を追ったドラマである。玩助先生は、乱暴だが、自分を曝け出しながら次第に子どもたちの心をつかみ、彼らに本気でぶつかっていく純真な教師であった。

「先生知らないの？」は、元ナーマンで暴力事件を起こして高校を中退した小学校教師を描き、「GTO」は、暴走族リーダーの経歴を持ち茶髪に耳ピアスという姿で勤務態度もいい加減な、高校教師鬼塚英吉の型破りな活躍ぶりを描いた。「ナオミ」は、従来の教師の常識を打ち破る大胆な態度で問題解決に立ち向かう、勇敢な高校女教師を主人公にしたドラマである。

また、「伝説の教師」は、生真面目な教師（中居正広）と常識外れでトラブルばかりを起こす問題教師（松本人志）が、高校内の問題を意外な展開で解決していく姿を取り上げている。「先生知らないの？」と「GTO」は、前歴に問題性を持つ点で共通し、「伝説の教師」の中の非常識な教師は、前歴が不詳で教員免許状を持っていない教師であり、いずれのドラマも教師の前歴に対するマイナスイメージをセールスポイントに転化したところに特徴がある。

そのほか、ヤクザの組長の娘が女教師になる「ごくせん」や東大合格を目指すスーパー教師（正式には教諭でない）が登場する「ドラゴン校」など超個性派教師もドラマ化されている。さらに、「女王の教室」では、過度に厳しい女性教師が主役とされた。

これら超個性派と言ってよい教師は大胆で、従来の教師像から大きく逸脱しているが、現実には生起しがちな様々な学校の問題に本気で立ち向かう姿勢を強く持っている。昭和40年代から見られた青春ドラマの型破りな教師像がここにきて極限に達したと言えるであろう。

これら個性派のスーパー教師の登場は、近年の教員採用選考試験における人物重視の傾向と無関係だとは思えない。人物重視には個性重視という視点

放映されている。後者では様々な問題と格闘しながら自らの信念を貫こうとする教師の姿がお茶の間の感動を呼んだ。この頃は、校内暴力など青少年問題のピークが去ると同時に、受験戦争の波が小学校にも押し寄せてきて、改めて教育の在り方が問われようとした時期である。ちなみに、臨時教育審議会が設置されたのは昭和59年であった。

「教師びんびん物語」は、名門私立小学校を舞台に、現実を無視した理想主義教師、徳川竜之介（田原俊彦）が周囲の人々を困惑させながら真の教育の在り方を求める姿を描いてみせた。

これら教師たちは、まさに理想追求型教師だと言ってよい。

(4) 女性教師への期待が高まる平成初め（奮闘型女性教師）

昭和60年代から平成にかけては、女性教師を主人公にしたドラマが続いた。「はっさい先生」は、戦前の大阪の中学校を舞台に、江戸っ子の若い女性教師が生意盛りの男子中学生をピシッと押さえていく物語である。これは戦前の物語であるが、平成から続出する以下の女性教師ドラマの先駆けとなった。

「はいすくーる落書」は、工業高校の新米英語女教師いづみがつっぱりや落ちこぼれ生徒を相手に大奮闘する姿を取り上げたドラマである。ここにきて女性教師が主人公として定着するが、このことは、中学・高校で女性教師の退職が増えてきた問題と関係するかもしれない。つまり、女性教師のハッスルぶりを示して彼女らにエールを送ったものと解されるからである。ともあれ、男性中心の職場であった中学・高校で不良・ツっぱり生徒と立ち向かう女性教師の姿に、多くの人たちが熱い期待を寄せたのである。

浅野ゆう子主演の「学校へ行こう」や、後述する藤原紀香主演の「ナオミ」も女性教師を主人公にしたドラマであった。

(5) 問題教師とスーパー教師が登場する現在

平成も年が進むと、問題教師が登場するようになる。「学校があぶない」は、教師同士のいじめが原因でノイローゼになった教師の行動を描き、「高校教師」は、十分大人になりきれない教師が女生徒と禁断の愛を交わすストーリーである。「人間・失格」は生徒に対して執拗に病的ないじめを続ける教師を描いた。言うまでもないが、いずれの教師も理想的ではなく、教育者で

も含まれるからである。同時に、指導力不足への対応強化や教員免許更新制の検討なども、これら教師が登場する時期に進められている。

最近では、ガテン系の民間校長を描いた「スクール!!」、体罰を許された「仮面ティーチャー」など現実の教育事情を取り上げたドラマも登場している。

2 ドラマ教師の条件

以上のように、昭和40年代から現在に至るまでの教師ドラマでは、それぞれの時代的影響を受けつつ様々なタイプの教師を描いてきた。しかしながら、「高校教師」などの一部ドラマを除けば、それらドラマのほとんどに共通する教師の条件が析出できる。

第1に、主人公の教師はほとんど若く独身で、しかも、昭和40～50年代までは男性が多かったことである。家庭生活に縛られずに、全力を教育に捧げられる教師の姿を表現しようとする意図がうかがわれる。

第2に、教師としての経験を持たない新採用や非常勤職である場合が多いことである。教師としての未熟さや経験の浅さと、教育にかける熱意の純真さや新鮮な感覚とを結びつけようとしているわけである。

第3に、現状改革型の教師が取り上げられていることである。旧い因習や権力に抗い、事なかれ主義やご都合主義に流されずに、自分の教育理念を信じて、その実現に向けて何とか現状を改善していこうと格闘する教師である。そこに「理性的教師」としての特質を見出すことができる。

第4に、子どもたちに深い愛情を注ぐことを惜しまない態度が見られることである。学校の管理職や町の有力者、保護者などの理不尽な圧力に負けず、常に子どもたちの立場に立って教育を考える、真の意味で子どもが好きだからこそ教師になったという、「愛の教師」の特質を備えているのである。

最後に、学校内では異端なタイプに属する教師だということである。これは単なる変わり者というのではなく、自分の教育理念を実現していくためには、長いものに巻かれず、ときとして大勢を敵にまわし自分の信念を貫くタイプを意味する。いわば「意志の教師」にも似た姿勢が貫かれている。

ようするに、ドラマの教師とは、権力や事なかれ主義に屈しない確たる教育理念を持ち、子どもたちの立場から常に教育のあるべき姿を求めて、純真

な気持ちでその実現に全力を注ぐ熱意ある教師なのである。むろん、彼らは子どもを叱ったり、厳しく指導することも少なくないが、どんな場合にも子どもたちと価値的枠組みを共有しようとするやわらかな姿勢を持っている。

そこに、唐澤（注1参照）が指摘した人格主義的な教師像のいくつかのタイプを重ね合わせることができ、また子どもたちが望む教師の姿を読み取ることができるのである。また、林屋らが指摘するように、「先生」と呼ばれる人たちが俗権からはずれた存在であるという姿を、ドラマ教師に見出すことができるのである¹⁷⁾。

したがって、ドラマの教師とは日本の伝統的な良き教師の姿を再現したものであり、その意味において多くの人々の共感を集める現代の理想的教師像だと言っよい。

ところで、実際に教員採用に関わる教育委員会はどのような教師を理想だととらえているのだろうか。

【東京都】

- ・教育に対する熱意と使命感をもつ教師——子どもに対する深い愛情、教育者としての責任感と誇り、高い倫理観と社会的常識
- ・豊かな人間性と思いやりのある教師——温かい心、柔軟な発想や思考、幅広いコミュニケーション能力
- ・子どものよさや可能性を引き出し伸ばすことができる教師——一人ひとりのよさや可能性を見抜く力、教科等に関する高い指導力、自己研さんに励む力

- ・組織人としての責任感、協調性を有し、互いに高め合う教師——より高い目標にチャレンジする意欲、若手教員を育てる力、経営参加への意欲

【横浜市】

- ・教育への使命感や情熱を持ち、学び続ける教師
- ・子どもによりそい、豊かな成長を支える教師
- ・「チーム学校」の一環として、ともに教育を創造する教師

地方によって、求める教員像は異なるが、知識や指導力だけでなく、使命感や愛情、豊かな人間性など人格に関わる要素も求められていることがわかる。